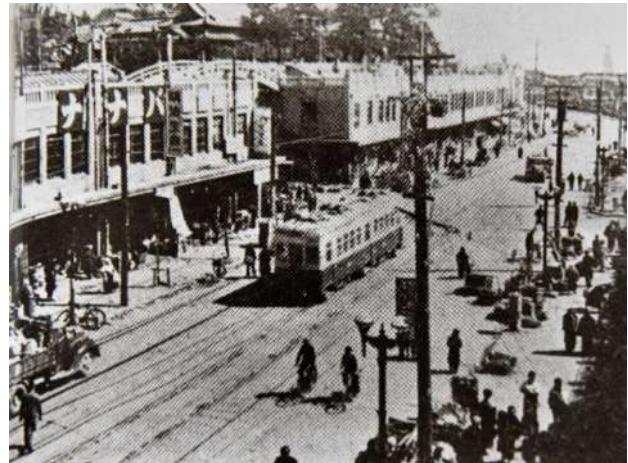
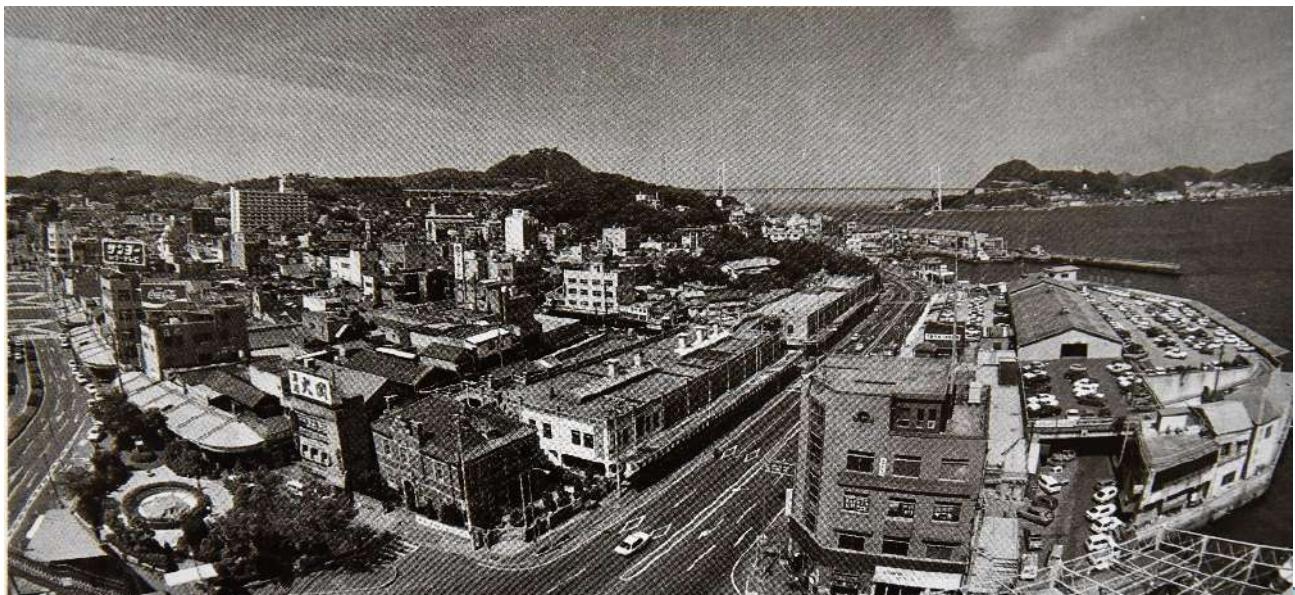


下関の台所から世界の唐戸市場へ



昭和8年当時



昭和55年当時

昭和8年、彦島との合併、西日本随一の規模を有する下関中央魚菜市場（のちの唐戸市場）の落成式等が行われ、「全市興奮のるつぼ」と当時の新聞の見出しが躍りました。

市民の入れる魚市場として活気にあふれていた下関の台所、唐戸市場は、唐戸地区ウォーターフロント計画により、平成13年新しく生まれ変わり、海外からも多くの観光客でにぎわう下関の顔の1つとなりました。